

いごいのみぎわ
天路歷程 ジョン・パニヤン

第23話

2022年4月24日～4月30日 各家庭でのディボーション用テキスト

この時基督者は声高に言った、おおい、おおい、待ってくれ。道連れになろう。これを聞いて信仰者は振り返ったので、基督者は再び叫んだ、待ってくれ、待ってくれ、私が追いつくまで。しかし信仰者は答えた、いえ、私は命が危いのです。復讐する者が追いかけてくるのです。これを聞いて基督者は少し激して、全力を出して早くも信仰者に追いつき、その上追い越したので、後の者が先になった。その時基督者は自分の兄弟よりも先になったので、得意になって笑った。しかし足下に気をつけなかったのが突然つまずいて倒れ、信仰者が助けに来るまでは再び起き上がることができなかった。

その時私が夢で見ていると、二人は大層仲よくいっしょに歩いて、巡礼の道中に起こったさまざまの出来事を楽しく語り合った。基督者は次のように話し始めた。

基督者 敬愛する兄弟信仰者さん、あなたに追いつけてうれしい。神が私たちの心を和らげて下さったおかげで、このように楽しい道中ができてうれしいことです。

信仰者 町を出るところからごいっしょになりたいと思っておりましたが、あなたに先を越されましたので、余儀なく一人でここまで来たような次第です。

基督者 私の後から巡礼の旅におたちになるまで、どのくらい滅亡の都におられたのですか。

信仰者 もう我慢のできなくなるまででした。あなたがたたれるとじきに、われわれの都はやがて天からの火で焼き滅ぼされるであろうといううわさが高くなったものですから。

基督者 何ですって、近所の人たちがそんな話をしていたのですか。

信仰者 そうです。しばらくはその話で持ちきりでした。

基督者 何ですって。それなのに、あなたよりほかに、だれも危険をのがれようとして出て来なかったのですか。

信仰者 今申しましたように、そのうわさは盛んだったのですが、だれも本気で信じてはいなかったと思います。その論議の白熱したとき、だれかが、あなたと、その向こう見ずな旅（皆はあなたのこの巡礼のことをそう言っておりました）のことをあざけて話すのを耳にしたくらいですから。しかし私は都の終末が上からの火と硫黄で来ることを実際信じました、今でも信じています。それで私は逃げだしたのです。

基督者 ご近所の柔順者のうわさをお聞きになりませんでしたか。

信仰者 聞きましたよ。落胆の沼に着くまではあなたについて行ったそうですが、だれかの話ではそこに落ち込んだとか。しかし彼はそれを人に知られたくなかったのですね。でも確かにそこらあたりの沼ですっかり汚れていましたよ。

基督者 それでご近所の人たちは彼に何と言いましたか。

信仰者 帰ってからというものはひどく笑われましてね。しかもいろんな人の間で。中には彼をばかにしてあざける者もありますし、ほとんどだれも仕事をさせないのです。今では都を出なかった場合より七倍も暮しが悪くなっています。

基督者 ですが、皆は彼が見捨てた道を軽蔑しているのに、どうしてそんなに反感を持つのでしょうか。

信仰者 おお、あん畜生！ あいつは裏切者だ、自分の信仰告白に忠実でなかった、と皆は言うのです。神は彼が道を捨てたというので彼の敵まで動かして彼をやじり、物笑いにしたのだと思います。【エレ 29:18-19】

基督者 お出かけの前彼と話しませんでしたか。

信仰者 一度街で会いましたが、自分のしたことを恥じる者のように横を向いてしまいましたので話しませんでした。

基督者 なるほど、最初出かけるときは、私もあの人に望みをかけたものでしたが。今となっては都の滅亡のとき彼も滅びるだろうと心配です。「犬は自分の吐いた物に帰り、豚は洗われても、また、どろの中にくろがって行く」【Ⅱペテ 2:22】という本当のことわざとおりのことが彼にも起こったのですから。

信仰者 私も同じように心配しています。しかし今さら何とも仕方はありますまい。

基督者 そうですね。信仰者さん、あの人の話はそのくらいにして、もっと直接私たちと関係のある事柄を話そうではありませんか。さあ、お出でになる道中で出会ったことを話して下さい。察するところ何かに出会われたでしょう。でなかったら不思議なこととして特筆してもよいわけですからね。

信仰者 あなたが落ち込まれたと伺っているあの沼は逃れて、そのような危険なしに門に着きました。ただ浮気夫人というのに出会いましたが、もう少しでひどい目に会うところでした。

基督者 あの女の網をのがれたのは結構でした。ヨセフは彼女にひどく苦しめられ、【創 39:11-13】あなたのように逃れましたが、すんでのことに命を失うところでした。ところでどんなことをあなたにしたのですか。

信仰者 あの女がどんなに口先がうまいか、多少知っているものでなければ、思いもありません。いろいろな満足を与えると約束して、いっしょに脇道に入るよう、しつこく私にせがみました。

基督者 でも彼女は良心の満足は約束しなかったでしょう。

信仰者 お察しのとおりです。あらゆる肉欲と官能の満足です。

基督者 あの女を逃れたことはありがたいことです。「主に憎まれる者は遊女の口に陥る」【箴 22:14】ですからね。

信仰者 いや、まったく逃れてしまったかどうか分かりませんよ。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい